

平成28年2月18日（木）

第3回 石狩川滝川地区 水害タイムライン検討会

資料-1

「第2回検討会の成果・課題」



第2回検討会の概要

開催日時:平成28年1月21日(木)13:30~17:00

開催会場:たきかわ文化センター 小ホール

議事内容: ■ワークショップ

~防災到達目標を達成するための
「行動項目」と「行動細目」の
抽出と整理~

・7つのグループで議論を行いました。

市民安全行動G、市民安全支援G、
地域安全対策G、防災情報・意思決定G、
交通運輸対策G、防災基盤対策G、
地域沿川G

地区水害タイムライン検討



第2回検討会の各グループの成果

①市民安全行動G

役割：確実な安全確保行動を実施して人的被害をゼロにするための、地域住民や町内会が実施すべき防災行動や、行政との連携内容を検討する。

- 以下の到達目標について行動項目・細目の抽出・整理を行いました。

到達目標1:災害時要配慮者の避難完了

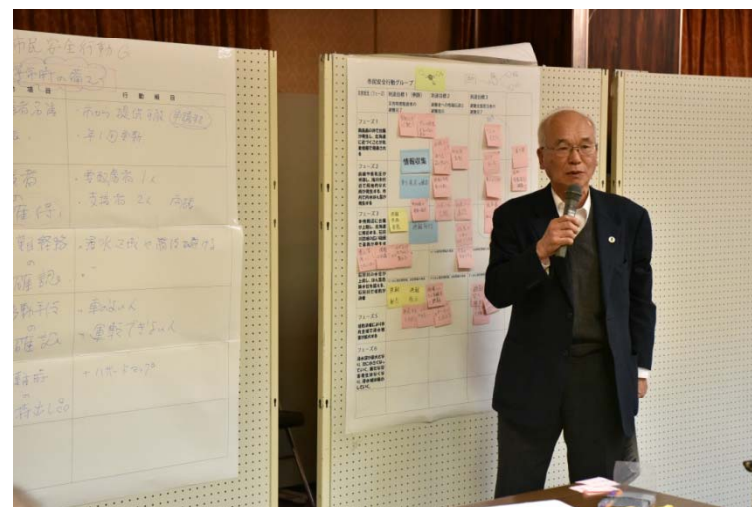
到達目標2:避難者への情報伝達と避難指示

到達目標3:避難支援担当者の避難完了



■議論の内容

- ・洪水時の要配慮者の避難において何をすべきか。
- ・地域住民の洪水時の情報の入手方法や災害発生時にすべき行動について議論しました。
- ・学童の避難や避難を拒否する人への対応など課題が挙げられました。



②市民安全支援G

役割：水害時の確実な安全確保行動(逃げ遅れ防止、災害時要配慮者の支援、避難所運営等)を行うための、行政および医療機関、自主防災組織等が実施すべき、防災行動について検討する。

- 以下の到達目標について行動項目・細目の抽出・整理を行いました。

到達目標1：一般市民の避難完了 《例題》

到達目標2：災害時要配慮者の避難完了

到達目標3：避難所開設と円滑な運営



■議論の内容

- ・一般市民および要配慮者の避難を支援する行動について議論しました。
- ・大きな病院の入院患者の避難や避難所での、医療ケアや心のケアについても課題として挙げられました。



③地域安全対策G

役割：市民の安全確保行動を支援するための情報提供・避難広報、避難誘導・救助を目的とした、行政、消防団および河川管理者等が実施すべき、防災行動について検討する。

■ 以下の到達目標について行動項目・細目の抽出・整理を行いました。

到達目標1：避難支援者(消防団等)の安全確保

到達目標2：災害時要配慮者の避難完了

到達目標3：一般市民の避難完了



■議論の内容

- ・洪水時の要配慮者および一般市民の避難完了にむけた避難支援、支援者の安全確保にむけた退路の確保等について議論を行いました。
- ・その中で、寝たきりの方の受け入れ先、輸送車の確保が課題として挙げられました。



④防災情報・意思決定G

役割：行政機関が行うべき情報の発信、収集および共有と防災行動に関する意思決定や指示を検討する。

- 以下の到達目標について行動項目・細目の抽出・整理を行いました。

到達目標1：災害対応の体制構築

到達目標2：避難情報発令の決定

到達目標3：避難完了の確認



■ 議論の内容

- ・洪水時の災害対応体制の確立、避難情報等の情報発信について議論しました。
- ・その中で、新たな到達目標として「災害対策本部の移設」が挙がり、これについても議論を行い、移設の基準、本部移設の意志決定、本部機能(電源、通信等)を如何にして確保するかが課題となりました。



⑤交通運輸対策G

役割：交通途絶の影響の軽減と交通における二次被害(アンダーパス等での被災等)を防止するための防災行動について検討する。行政機関及び交通運輸に関わる事業者等が検討する。

- 以下の到達目標について行動項目・細目の抽出・整理を行いました。

到達目標1:交通規制、運行停止の完了

到達目標2:迂回路、緊急輸送路、
代替交通の確保

到達目標3:職員の安全確保



■議論の内容

- ・洪水時の通行規制・通行止、代替交通手段、代替路の確保について議論しました。
- ・その中で、危険水位で通行止を実施するようなルールづくりや対応職員等に避難についてルールづくりが課題として挙げられました。



⑥防災基盤対策G

役割：施設管理者等が実施する、社会基盤(ライフライン等)の浸水被害を軽減する方策と早期復旧のための事前対策について検討する。

- 以下の到達目標について行動項目・細目の抽出・整理を行いました。

到達目標1:機能停止時の代替手段の確保

到達目標2:災害対応支援(人・物)の現場
到着

到達目標3:現場対応者の安全確保



■ 議論の内容

- ・洪水時のライフラインの代替手段の確保、それにかかわる人や物資の調達について議論を行いました。
- ・ライフライン施設管理者と国や自治体との連絡体制の整備・確立が課題として挙がりました。



⑦地域沿川G

役割：中空知地区の地域防災力向上を図るため、タイムラインの取り組みについて模擬的に議論を実施する。前述グループの議論内容に加えて、各自治体で必要と考えられる防災行動について検討する。

- 以下の到達目標について行動項目・細目の抽出・整理を行いました。

到達目標1：石狩川の決壊やはん濫時に想定される被害

到達目標2：鬼怒川災害を受けての懸念事項

到達目標3：タイムラインへの期待もしくは関心事項



■ 議論の内容

- ・想定される被害として、浸水被害、交通途絶、逃げ遅れ等が挙げられました。
- ・懸念事項として、避難行動、情報の発令判断、人員不足、避難所開設・運営などがあがりました。



行動項目・細目の整理

- ・第2回検討会での取組みを参考資料-1に整理しました。

第2回検討会のご意見・ご質問

第2回検討会のご意見

■ 第2回検討会の運営等に対して以下のようなご意見をいただきました。

- ・避難行動は集団であり指示によって行動するもの、行政側から指示、勧告を出してほしい。
 - ・考える時間が少なかったなので、もう少し余裕があればいいと思いました。
 - ・グループが多く、他グループの声が聞えて進めづらかった。
 - ・タイムラインで検討したことを市民に知らせることが必要である。
-etc.

■ 貴重なご意見ありがとうございます。

これらを踏まえ、今後のより良い検討会の企画・運営に役立てさせていただきます。